

20th聞き書き甲子園 参加申込書

【参加資格】高校生 【募集人数】88人 【応募〆切】2021年6月24日必着

【参加条件】事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。 *選考結果は7月末までに郵送で通知します。

【参加費用】無料 *事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します。

【応募方法】ウェブサイトからご応募ください。もしくは、参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送ください。

【表彰】農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞、ファミリーマート特別賞等

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301
聞き書き甲子園実行委員会事務局 (NPO法人共存の森ネットワーク内)
TEL:03-6432-6580/FAX:03-6432-6590/E-mail:contact@kikigaki.net

聞き書き甲子園
ウェブサイトはこちら。
<https://www.kikigaki.net>



フリガナ			
氏名	生年 月日	西暦 年 月 日生(歳)	
	性別	男 女	
住所	〒(-) 本人携帯番号(- -)		
E-mail			

フリガナ			
高校名	年 組		
高校所在地	〒(-) 電話番号(- -)		

フリガナ			
担当教員	参加者との関係 <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 部活顧問 <input type="checkbox"/> その他 _____		

※緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅 →	→ 東京駅 (または羽田空港)
	自宅~東京駅、 または羽田空港まで	自宅 →

※研修は東京と大阪の2か所で開催します。ご自宅からの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)すべてご記入ください。この情報をもとに参加会場の振り分けとチケット手配を行います。

保護者氏名	<input type="checkbox"/> ※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。 また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。		
住所	〒(-)	ご自宅電話番号(- -)	
		携帯電話番号(- -)	
		Email ()	

※住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。

自己PR	あなたの長所や経験、 特技、将来の夢などを 書いてください。
------	--------------------------------------

※開催にあたっては、国や各都道府県の方針に従い、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行います。

状況により、開催内容が変更・延期・中止になる可能性もあります。あらかじめご了承ください。

最新の情報はウェブサイトにてご確認ください。

KIKIGAKI

20th

聞き書き甲子園



ニッポンの深層へ。
未知の世界の
扉をひらけ。

名人に会い、森・川・海の暮らしを未来に繋ぐのはきみたちだ。

【主催】聞き書き甲子園実行委員会 (農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク) 【募金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート 【助成】公益財団法人日本財団 【協賛・協力】トヨタ自動車株式会社、一般財団法人環境文化創造研究所、公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電機工業所、株式会社トンプコ、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション、大和ハウスグループエンドレス募金 【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、全国過疎地域自立促進連盟、NPO法人「日本で最も美しい村」連合



あなたと、コンビに、



ファミリーマートは「夢の掛け橋基金」を通じて、この活動を応援しています。

What is KIKIGAKI?

聞き書き甲子園をもっと知るための「6つの質問」

Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事場を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生きかしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。

「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」

名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わるのです。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

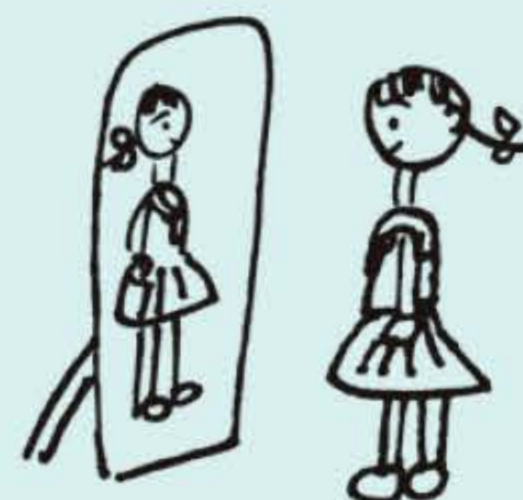
Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？

聞き書き甲子園は、2002年（平成14年）に始まりました。参加者の累計は、もうすぐ2000人になります。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会いから、新たな一歩を踏み出しています。



視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人々です。その職種は、樺（きこり）、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一対一で「聞き書き」します。



Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催（2019年度）より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村（地域）を、毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。

【本年度の受け入れ地域】岩手県西和賀町 / 山形県小国町 / 山形県白鷹町 / 栃木県鹿沼市 / 石川県能登町 / 長野県飯田市（南信濃地区） / 岐阜県中津川市（加子母地区） / 岐阜県東白川村 / 福井県大野市 / 大阪府阪南市 / 岡山県備前市 / 長崎県大村市



Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

MOVIE



映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映を希望される方には、有料で貸し出ししています。

WEB



聞き書き甲子園公式ウェブサイト <https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。また、公式YouTubeチャンネルでは取材のしかたなどを学べる動画を公開しています。

聞き書き電子図書館

<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、登録が必要です（有料）。



KIKIGAKI



発行者：聞き書き甲子園実行委員会

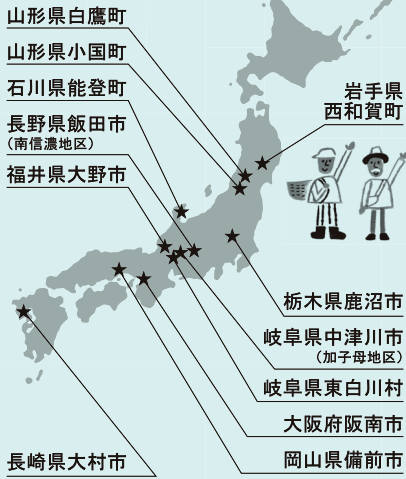
聞き書き壁新聞 2021

https://www.kikigaki.net

発行日：2021年5月

取材先は全国に広がる12の地域

【2021年度の受け入れ地域】



20th 聞き書き甲子園

名人に会い、森・川・海の暮らしを未来に繋ぐのはきみたちだ。

第20回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。

今年参加する高校生が取材するのは、全国12の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。

自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？



聞き書き甲子園の1年

6月24日まで

応募する

よーし、頑張って参加申込書を寄せて！



参加者に選ばれた！

8月中旬

研修

大阪・10月13日、東京・16日19日、いずれか1泊2日で開催される研修に参加する。聞き書きのノウハウを教えられる。最初は緊張したけど、全国に友達ができたと！



名人にアポを取る

9月

取材をする①

取材をする②

10月

書き起こす

12月

作品にまとめる

3月下旬

フォーラム

成果発表会

冊子に

また訪ねていきたいな。

聞き書き抜粋

海のオールラウンダー

長い積み重ねの上にある今

【海の名人】池田幸郎

【漁業・山形県酒田市飛鳥】

【聞き書き】富島裕子（女子学院高等学校2年）

アワビと名人

サザエなんかであれば若い人もそれなりにとることができるけども、アワビにおいてはやっぱり技術。アワビだけは、目が良くてそれなない腕力があってもとれない。まったくの技術なんです。特に夏のアワビは岩に同化して一番見にくいもんで、飛鳥でもとれる人少ないと思うよ。

「漁師のほんとのすがた」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

「それは名人そのものだった」それは名人そのものだった

でもんを研究しなかつたら、ぜえつたに成長していかないよ。

動物と共存できる未来へ

【森の名人】河田雄正

【林業・農業・山口県下関市】

【聞き書き】里崎光（鳥取県立平戸高等学校2年）

喜びと苦労は表裏

私は最初から山や森づくりの勉強をして嫁いで来たわけじゃない。だから爺ちゃん山に行くと、爺ちゃん山に行く通りにスギとヒノキばかり植えてたね。それから色々書物を読んだり、苗木を作ることも覚えた。そして誰よりも先にカヤの木を買ってきて「これから先の森づくりは山の木をいっぱい売るんやなくて、2、3本売つたら1年の生活費があるんだよ。」

（サカキとかシラカバは、もう30年くらい前かな。私が考えたんは、ちよっと植えたんじや駄目。植える量を増や

すんよ。ポット苗は植えたら100%っていつてもええくらい木が枯れずに育つ。でも上手く雨が降ってくれればやあね。山だつて右から左に流るもんじやないんよ。

動物との共存と環境の変化

あとは全ての動物と共存せよならん。でもそれはやっぱり大変なことよ。どのくらい共存できるのかはわからない。でも植林をしようとしたら動物の食べるものが無くなったと。一概には言えんと思ふ。確かに奥山の方まで植林するのは水害が起きたりもするし良くないと思ふ。そういうことを考えたら山の上まで植林をするのはよさそう。山桜でもええし、何でもええから山の上の方に実をいっぱいつける木を植えたい。動物が里に出てくるのは、少しは変わると思ふ。

人間も欲と二人連れやからやってみようよ。もう少し知恵を動かさないとやいけん。人間が自分ばかりのこと考えてもなかなか良いことない。

【名人プロフィール】河田雄正（2019年7月、農林業の家庭に生まれ、河田愛に嫁いでから山林の経営を始めた。スギやヒノキだけではなくトナリやマツクラ、ケヤキやカヤなど様々な樹種を育て、未来を見据えた森づくりを積極的に行っている。）

【第18回聞き書き作品発表会より抜粋】

参加者の声

おそらく参加しなければ一生経験しなかつたであろう海の名人との1対1の対話は、これまでスマホの中で凝り固まっていた私の世界を、大きく押し広げてくれたように感じました。（宮城県Oさん）

聞き書きは人の思いを聞いたそのままだ。でも誰にとってもわかりやすいように伝えることができます。そして名人が語りかけてくるかのような語り手に、見る人に寄り添った文章にすることが出来ます。（福井県Hさん）

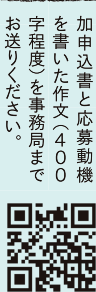
自然と共に暮らしている名人は、とてもかっこよくて、楽しそうで、私の憧れです。温かい笑顔で「北海道の孫じゃ」と言ってもらえたことは一生の宝物です。（北海道Tさん）

【募集内容】参加資格 高校生 ●募集人数 88人 ●参加条件 事前研修に参加できること ●また、聞き書き作品を期日までに提出すること ●参加費 無料（事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します） ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文（4000字程度）を事務局までお送りください。

集まれ、高校生。

ファミリマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリマートは、2006年より店頭募金「ファミリマート夢の掛け橋募金」を通じ、こともたちと地球に豊かな未来を築くための活動をNGO/NPOと取り組んでいます。国内ファミリマート全店で実施している店頭募金は、株式会社ファミリマートからの企業寄付と併せて各団体へ寄付されています。その一部が公益財団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に役立てられています。



聞き書き甲子園ウェブサイトに応募できます。



あなたも、コンビニに FamilyMart